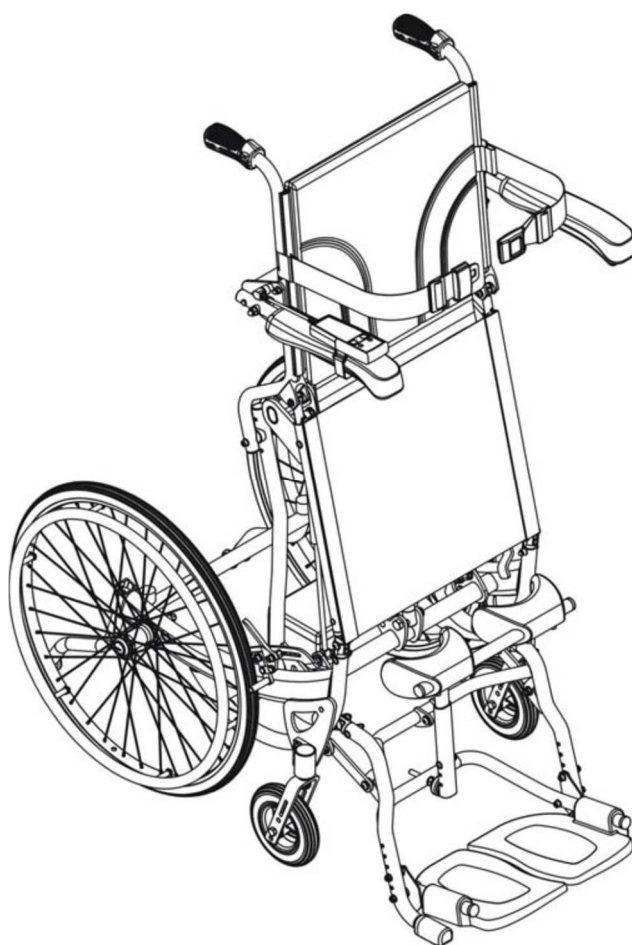


Rizer 1 取扱説明書



ラックヘルスケア株式会社

コード No. 2023.08

目 次

1. 概要.....	1
2. 安全にご利用いただくために.....	4
3. 使用目的と各部名称.....	7
4. 使用方法.....	8
5. 点検とメンテナンス.....	20
6. トラブルシューティング.....	22
7. 製品仕様.....	23
8. クリーニングとリサイクル.....	24

1. 概 要

この度は車いす「Rizer 1（ライザー ワン）」をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本製品のご使用前には必ず『取扱説明書』をよくお読み頂き、正しく安全に使用してください。
車いすの調節は、販売店もしくは弊社までお問合せください。

- この取扱説明書は「Rizer 1」について記載しております。
- 表記について下記をご確認ください



警告

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると重大な事故につながり、
使用者が重傷を負う恐れがあります。



注意

この表示項目を守らずに誤った取扱をすると使用者が傷害を負ったり、
物的損害をこうむる恐れがあります。



この表示は、調節や使用時のアドバイスを記載しています。

- この取扱説明書には保証だけでなく修理等に関する情報も記載しております。
- 本製品の使用者及び介助者に取扱説明書をお渡しください。
- 仕様により取扱説明書内に記載のある写真と本体が異なる場合があります。
- 製品は予告なく仕様、形状を変更する場合があります。

【基本的な注意事項】

- ・ 股関節に障害がなく、下肢機能がしっかりしており骨格に異常のないと診断された方を対象とした車いすです。
- ・ 車いすを定期的にメンテナンスしてご利用ください。特にブレーキ機能に影響の出るタイヤを確認してください。
- ・ 車いすへ乗り降りする際は、ブレーキがかけて車いすが動かないことを確認してください。
- ・ 使用時以外はブレーキをかけてください。
- ・ 坂道や傾斜のある場所で使用する際には、バランスが崩れやすくなりますのでご注意ください。
- ・ 急な坂での使用は本体が傾き倒れる可能性がありますので、避けてください。
- ・ 前輪がのめり込んでしまうような柔らかい地面での利用は避けてください。
- ・ 家具やドアなど、障害物に気を付けてください。
- ・ 使用者の足がタイヤに当たらないよう、フットサポートに足が乗っていることをご確認ください。
- ・ 介助者は介助ハンドルに手をしっかりかけてください。
- ・ 車いすのバランスが取れていることをご確認ください。
- ・ 保証期間内及び期間外において、本体フレームやパーツ等を取扱説明書に基き定期的に確認してご使用ください。
- ・ 背シートは、緩くなり次第交換してください。
- ・ ベアリングに潤滑油を定期的に付けてください。
- ・ 後方に倒れないように転倒防止バーを使用してください。
- ・ 使用者の状態により、シートベルトやアングルサポート、ヘッドサポート等ご使用ください。
- ・ 油をご利用後には手を洗ってください。
- ・ いかなる状況でも最大使用者体重を超えた使用は避けてください。
- ・ 車いすのバックサポート（背もたれ）や介助ハンドルに荷物を架けないでください。車いすが不安定になり、後方へ転倒する恐れがあります。
- ・ 車いすに2人以上乗らないでください。
- ・ 意識のない方を乗せないでください。
- ・ ほかの器具を利用して車いすを引っ張らないでください。
- ・ ウィリーをすると倒れたり、使用者が重症を負ったりする可能性があります。
- ・ 車両への積載時に、フックで固定されていない場合には車いすに乗らないでください。
- ・ 車いすを高速で回転させたり動かしたりしないでください。
- ・ 車いすへの乗り降りする際は、フットサポートの上に立たないでください。
- ・ 車いすに乗ったまま階段を降りないでください。
- ・ 脱着可能なパーツを持って、車いすを持ち上げないでください。
- ・ 脱着可能なパーツを持ちながら車いすを持ち上げると、利用者や介助者がけがをする可能性があります。また車いすが破損する可能性があります。
- ・ 車いすのバッテリーが無くならないよう、定期的に残量を確認し充電してください。
- ・ 長期間使用しない場合は電源を OFF にして保管してください。電源を OFF にした場合でも1～2週間に1回はバッテリーの残量を確認してください。

【ご使用になる前に】

- 車いすの組み立て、工具を必要とする調整は専門の業者によって行ってください。専門の業者はサービス提供者でもあります。勝手な改造等を行うと保証対象外になります。
サービスや修理については専門の業者へお問い合わせください。
- パーツが不足した場合には、専門の業者へお問い合わせください。カーマ社純正のパーツのみご使用ください。純正のパーツ以外を使用した場合、保証対象外になります。
- メンテナンス、パーツの交換については、専門の業者へお問い合わせください。
- メンテナンス、修理は知識をもった方が行ってください。熟練した専門の業者はメンテナンスに必要なすべての情報を所有しており、スタンディング車いすが最高のパフォーマンスを発揮するようにメンテナンスを行うことができます。
- メンテナンス、修理などご不明な点がございましたら、ご購入いただきました代理店もしくは弊社へお問い合わせください。

【CE マーク】

医療機器 93/42/EEC を取得しております。



注意

ご購入の前に知識をもった専門家へご相談ください。利用者の状況によりシートベルトやヘッドサポートなどのオプションパーツを使用してください。

2. 安全にご利用いただくために

2. 1 ドア

段差のない路面で使用するのが一番安全です。段差のある場所への出入りは、スロープをご利用ください。バランスを保つためにハンドリムを握ってご利用ください。無理に走行して通過しないようにしてください。

2. 2 寄りかかる

片側に寄りかかるとバランスを崩し、倒れる可能性があります。(図 2.1)

2. 3 傾斜

- ・転倒の危険性がある為、傾斜のある場所で回転しないでください。
- ・介助する際、傾斜をまっすぐに進んでください。利用者が真ん中まで降りてきたら、平面までは後ろ向きに歩いてください。(図 2.2、2.3)
- ・危険を避ける為、7 度以上傾斜があるところの移動はやめてください。3 度以上傾斜がある所での駆動は注意してください。
- ・傾斜の途中で止まることは避けてください、車いすのコントロールが失われる原因となります。
- ・駐車ブレーキを使用して車いすの速度を落としたり停止させたりしないでください。車いすが急停止して放り出される可能性があります。
- ・可能な限り、傾斜では介助者に手伝ってもらうようにしてください。

2. 4 段差

- ・可能であれば、カーブを通る際には介助者についてもらってください。
- ・強い衝撃を避けてください。車いすに影響が出ます。
- ・既定の高さを超えた段差でのご使用は避けてください(30mm~50mm)。
- ・上り坂では常にご注意ください。介助者なしでの逆向きでの使用は避けてください。

2. 5 階段

- ・常に 2 人以上の介助者にてご利用ください。
- ・前向きに階段(段差)を下りないでください。
- ・エスカレーターを使用せず、エレベーターを使用してください。

2. 6 街中

- ・道路を横断する際、常に十分注意をしてください。車いすや衣類に反射テープを貼っておくとドライバーから見やすくなります。
- ・キャストが引っかかる原因となる溝や穴、荒れた道での使用は避けてください。(図 2.4)

2. 7 一般

- ・車いすを乗り降りする際、必ず両方のブレーキがかかっていることをご確認ください。
- ・車いすを乗り降りする際、フットプレートの上に立たないようにしてください。
- ・複数の方が乗って使用しないでください。車いす利用は1人に限ります。
- ・衣服が車いすに絡まらないようにご注意ください

2. 8 カバー

- ・バックサポートと座面シートを清掃する際は温水と中性洗剤をご使用ください。
- ・クリーナーやフォームも使用できますが、指定以外の薬品は使用しないでください。

2. 9 転倒防止バー

- ・常に使用してください。(図 2.6)

2. 10 最大使用者体重

- ・最大使用者体重を超えて使用すると、車いすの破損や安全性を欠く可能性があります。使用者体重を超えて使用した場合には保証対象外になります。
最大使用者体重は、衣服や荷物を含めた重量です。

2. 11 間違った使用方法

- ・本書には注意事項が記載されております。間違った使用方法はけがにつながる恐れがあります。安全にご使用いただくために本書に従い車いすをご使用ください。
- ・お子様が遊ばないようにご注意ください。



Figure 2.1



Figure 2.2



Figure 2.3



Figure 2.4



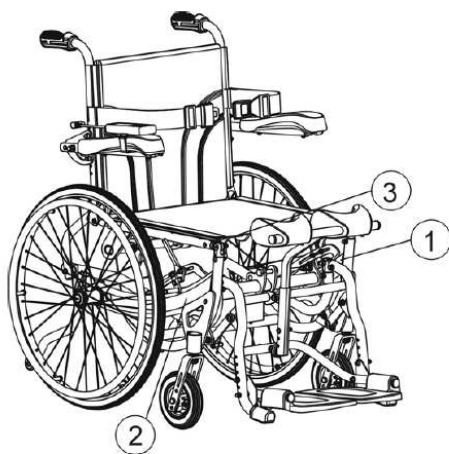
Figure 2.5



Figure 2.6

2. 1 2 ラベル

- ご使用の際は、車いすのラベルをよくお読みください。ラベルは取り外さないようにしてください。参考情報が記載されております。



- ① CE マーク
- ② シリアルナンバー
- ③ 製品仕様



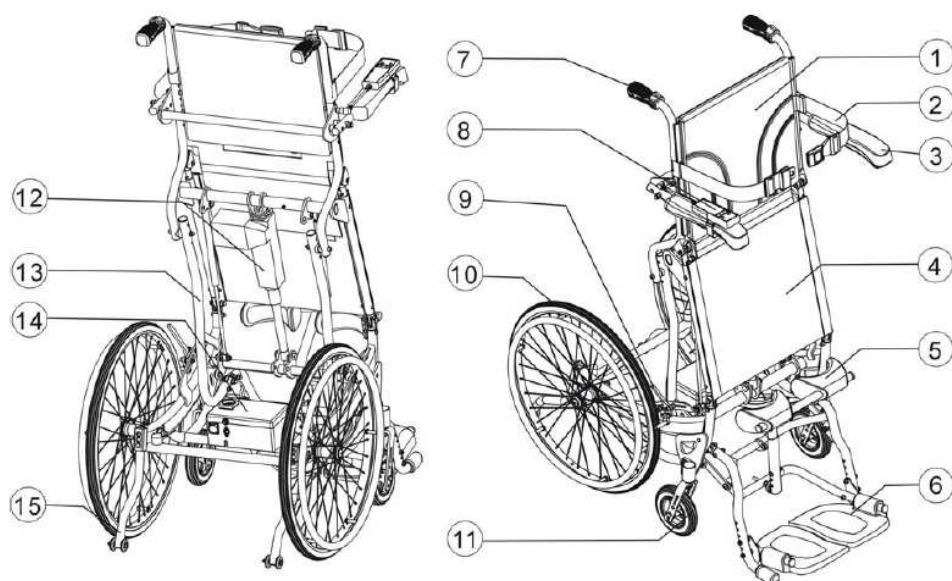
Model:	
Order No.:	
Delivery Date:	
Sewing No.: ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6	
Seat Width	Seat Depth
☐ 13	☐ 13
☐ 14	☐ 14
☐ 15	☐ 15
☐ 16	☐ 16
☐ 17	☐ 17
☐ 18	☐ 18
☐ 19	☐ 19
☐ 20	☐ 20
☐ 21	☐ 21
☐ 22	☐ 22
Unit: Inch	

3. 使用目的と各部名称

3. 1 使用目的

- Rizer 1 は自走もしくは、介助で使用する車いすです。
- 最大使用者体重は 120kg です。
- 丈夫なアクセサリパーツや耐久性に優れたアルミニウム合金フレームで構成されております。
- 屋内、屋外で使用することができます。
- 耐久性があるキャスタとメインホイールがついています。
- 下肢切断をされている場合、車いすの重心に影響出るので、医療専門職もしくは、専門的な知識を持った業者へご相談の上ご利用ください。
- 立ち上がり機能は平らな場所で使用してください。
段差や傾斜のある場所（坂道やスロープ）、不安定な場所では使用しないでください。

3. 2 各部名称



- | | |
|---------------|------------------|
| 1. バックサポートカバー | 9. ブレーキ |
| 2. 胸ベルト | 10. メインホイール |
| 3. アームサポート | 11. キャスタ |
| 4. 座面シート | 12. アクチュエーター |
| 5. ニーパッド | 13. スタンディング フレーム |
| 6. フットサポート | 14. バッテリートレイ |
| 7. 介助ハンドル | 15. 転倒防止バー |
| 8. コントローラー | |

4. 使用方法

4. 1 ご利用になられる前に

4. 1. 1 開梱し本体とパーツを取り出してください。(図 4.1、4.2)

4. 1. 2 メインホイールの組み立て

- クイックリリースのボタンを押しながら、車軸をメインホイールのハブへ取り付けてください。
- ブレーキがかからない位置にあることを確認し、メインホイールを車いすのアクセルスリーブへ取り付けます。(図 4.3、4.4) 取り付け後に、メインホイールが外れないことを確認ください。



Figure 4.1



Figure 4.2



Figure 4.3



Figure 4.4

4. 1. 3 バックサポートの組み立て

- バックサポートのパイプ起こし、スタンディングフレームの外側からボルトの穴に合う位置へ動かしパイプとフレームの間にスペーサーを挟みます。(図 4.5、4.6)
- 最初からついてきたボルトを差し込み、固定してください。(図 4.7)

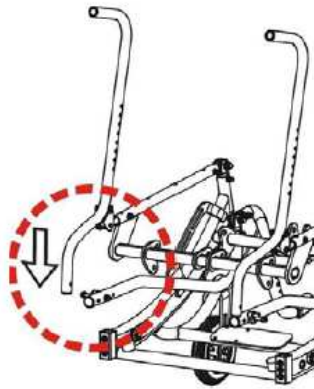


Figure 4.5

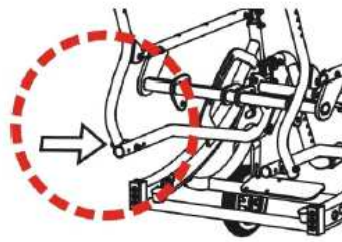


Figure 4.6

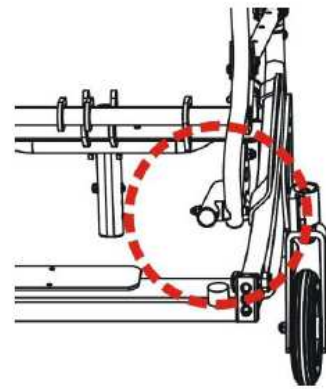


Figure 4.7

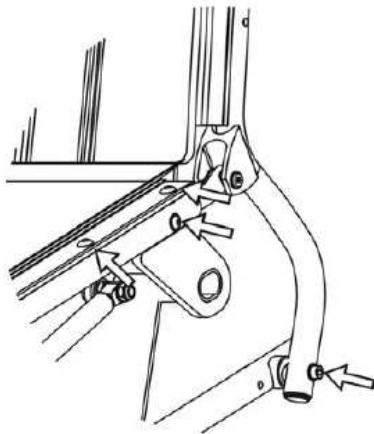


Figure 4.8

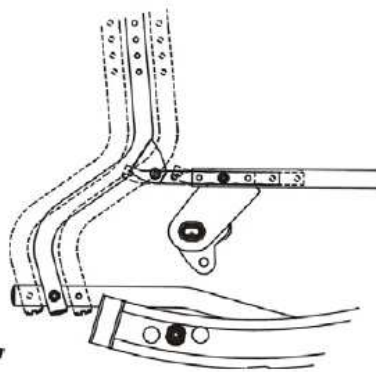


Figure 4.9

4. 2 調節方法

4. 2. 1 座面の奥行（3段階）

快適で良い立位を取るために、座面の奥行は大腿部の長さに合わせて調節してください。
座面についている3箇所のボルトとスタンディングフレームのボルトを外し、フレームを前後にスライドすると座面の奥行を調節することができます。奥行を調節した後は、ボルトを戻して固定してください。座面奥行きの目安は、膝窩（膝の裏）と座面の先端の距離が4 cmから5cmです。



注意

- 座面の奥行調整を行った後に、座面とスタンディングフレームの取付位置が合っていることをご確認ください。
- メインホイールの位置は座面奥行に合わせて調節してください。

4. 2. 2フットサポート

A. 高さ調節（4 段階）

- ボルトをフロントチューブより取り外し、フットサポートの高さを調節してください。
調節が終わったらボルトを戻し固定してください。（図 4.10）

B. フットサポートの跳ね上げ

- 移乗を安全に行うために、フットサポートを跳ね上げてください。



Figure 4.10



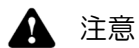
Figure 4.11



Figure 4.12



Figure 4.13



注意

- フットサポートの高さを調節する際は、使用者の大腿部が座面シートに接地しており、膝窩が触れていない事を確認してください。
- 正しい高さの設定は、圧分散の効果を高めます。

4. 2. 3アームサポート

A. 高さ調節（5 段階）

- アームサポートを固定しているボルトをバックサポートから取り外し、高さ調節してください。
調節後、ボルトを戻し固定してください。

B. 跳ね上げ

- アームサポートを跳ね上げることで移乗がしやすくなります。



Figure 4.14



Figure 4.15

4. 2. 4ニーパッド

立位になる前にニーパッドを調整することは大切です。U型のパッドの奥行と高さを調節してください。

A. 奥行調整

- ・ボルトを回転させパッドの位置を調節してください。膝とパッドの距離が3cm から 4cm が目安です。

B. 高さ調整（5段階）

- ・クイックリリースピンを外し、ニーパッドの高さを調節してください。クイックリリースピンは必ず指して使用してください。（図 4.17）膝蓋骨（膝の皿）から3、4 cm下の位置が目安です。

C. 角度調整

- ・ニーパッドの裏側にあるボルトを緩め、ニーパッドの角度を調節してください。調節後、ボルトを締め固定してください。（図 4.18）

D. 幅調整

- ・ニーパッドの裏側にあるボルトを緩め、ニーパッドを左右に調節してください。位置を調節した後、ボルトを締めて固定してください。（図 4.19）



注意

- ・ニーパッドの調節は、立位のために必要な調節です。膝へのサポートを適切に行い、良い姿勢を確保することに繋がります。



Figure 4.16



Figure 4.17



Figure 4.18



Figure 4.19



Figure 4.20

4. 2. 5 バックサポート

- ・バックサポートが緩い場合には背張り調整を行ってください。（図 4.20）

4. 2. 6 胸ベルト

- バックサポートとストラップの2箇所で調節を行うことができます。
- バックサポートチューブのボルトを取り外しベルトの位置と長さを調節してください。
調節した後、ネジを締めて固定してください。(図 4.21)
- 胸ベルトとバックルがしっかり締まっていることを確認してください。(図 4.22)



Figure 4.21



Figure 4.22



Figure 4.23



警告

- 胸ベルトがメインホイールに巻き込まれないように注意してください。
- 安全ベルト（シートベルト）としては使用できません。
- ベルトの内側に腕を入れないようにしてください。(図 4.23)
ベルトの内側に腕があると身体が滑り落ちる場合があります

4. 3 立ち上がりユニット

4. 3. 1 配線図 (図 4.23)

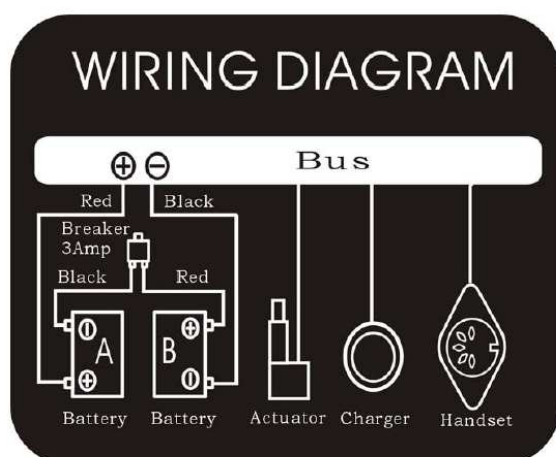


Figure 4.23

4. 3. 2 立ち上がり機能



- バッテリートレイにある電源ボタン（赤いボタン）を押して、電源を入れてください。
- UP ボタンを押すと、立ち上がりを行います。
- DOWN ボタンを押すと、座面が下がります。

4. 3. 3 緊急降下スイッチ

左側（または右側）のアームサポートの下に黄色の緊急スイッチがあります。コントローラの故障により座面を着座位置まで下げることができない場合は、この緊急降下スイッチを押してアクチュエーターを作動させて座面を下げることができます。



注意

- バッテリーの残量がない場合、緊急降下スイッチを押しても作動しないことがあります。

4. 3. 4 バッテリーの充電方法

- Rizer 1 は2つのバッテリー（12V,2.9Ah×2個）を使用しています。満充電で120サイクル稼動します。（座位／立位／座位を1サイクル。新品バッテリーを使用した場合の想定数値）
- バッテリー残量が低い場合（残量計の赤い部分に針がある場合）には充電をしてください。赤い部分に針がある場合、10サイクルの稼動が限度です。
- 使用者が座る位置に戻ってからバッテリーの充電を行ってください。
- 充電を行う際は、車いすの電源を入れてから充電器のプラグをソケットに差し込んでください。
- 充電中は充電器のライトがオレンジ色に光ります。充電完了後、ライトは緑色に変わります。
- 充電が終わりましたら充電器のプラグをソケットから抜き、充電器はコンセントを抜いて保管してください。
- 充電が完了するまで4時間から5時間程度かかります



- 1、充電ケーブル接続ソケット
- 2、ブレーカー
- 3、コントローラー接続ソケット

【充電の手順】

- 1、車いすの電源を入れてください。



- 2、充電器をコンセントにつなぎ、充電器のライトが赤く点灯することをご確認ください。



- 3、充電ケーブル接続ソケットに、充電器のプラグを差し込んでください。



- 4、充電が開始すると充電器のライトがオレンジに変わります。(満充電の場合は、緑色が点灯します) ライトの色が変わらない場合は、接続の手順を再度ご確認ください。



注意

- 充電を始める前に電圧を確認し、コンセント及びプラグをしっかりと差し込んでください。差し込みを間違えると発火する恐れがあります。
- 立ち上がり機能は平らな場所で使用してください。坂道や階段、段座のある場所では使用しないでください。
- 立ち上がり機能を使用する前に、胸ベルトとニーパッドが調節されていること、また、車いすのブレーキが固定されていることをご確認ください。
- 充電中に立ち上がり機能を使用しないでください。
- 立ち上がり機能を使用しない場合には、電源ボタンを押して電源を切ってください。
- 長期間使用しない場合は、電源を OFF にして保管してください。
- バッテリーの残量が無くならないよう、定期的に残量を確認してくださ

4. 4 輸送と収納



直射日光を避け、雨や風の当たらない場所で保管してください。
ご不明な点は、ご購入された代理店または弊社までお問い合わせください。



注意

- ・収納時、保管時は車いすの上に物を置かないでください。
- ・車いすの上に物を置くと、車いすの破損に繋がる恐れがあります。



4. 5 移乗

4. 5. 1 車いすへ乗る

車いすのブレーキをかけてください。

- ・フットサポートを跳ね上げてください。
- ・アームサポートを利用したり、介助で車いすへ乗り移ってください。
- ・フットサポートを元の位置に戻し、足を乗せてください。
- ・両方のブレーキを解除します。



注意

キャストとメインホイールが正面を向いており、可能であれば介助者や壁などで動かないように固定してください。

4. 5. 2 車いすから降りる

- ・移乗先にできる限り近づいてください。
- ・キャストとメインホイールが正面に向いていることを確認し、可能であれば本体は壁や介助者によって動かないように固定してください。車いすのブレーキは両側をかけてください。
- ・フットサポートを跳ね上げてください。
- ・座面の前方へ移動します。
- ・片足を地面につけ膝の角度を 90 度にします。もう片方の足は少し後方へ置きます。
- ・アームサポートを片手でつかみ、体幹を前傾にし、体の重さを移動します。頭を前に動かし肩を膝の上に移動して体を持ち上げます。



注意

- ・ 移乗の際に、フットサポートの上で立ち上がらないでください。(図 4.24)
- ・ 移乗の際は、車いすのブレーキをかけてください。
- ・ タイヤの磨耗がないか、ブレーキがきいているかどうか、確認してください。
- ・ 指や手をブレーキや隙間に挟まないように注意してください。

移乗時には、車いすが動かないようにブレーキをかけてください。フットサポートを跳ね上げることで移乗を容易にすることが出来ます。

4. 6 一般的な使用方法

4. 6. 1 介助者が押す場合と自走の場合

- ・ 車いすが動かないようにブレーキを常にかけてください。(図 4.26)
- ・ フットプレートに安全に足が乗っていること、また衣服がタイヤに巻き込まれないようにしまわれていることをご確認ください。(図 4.27)
- ・ 介助者は両手で介助ハンドルを握り、車いすをコントロールしてください。(図 4.28)
- ・ 急な坂道では、車いすが後方に倒れる可能性があるため注意してください。(図 4.29)
- ・ 柔らかい地面での使用はキャストがのめり込む可能性があるため避けてください。(図 4.30)
- ・ 駆動時には急な回転やスピードを出しすぎないように注意してください。
- ・ 道路横断時には、完全に停止して左右を確認してください。
- ・ 踏切は斜めに横断しタイヤが溝にはまらないようにしてください。
- ・ 線路上では速度を出しすぎないようにしてください。
- ・ ドアや狭い場所を通る際には、手や腕を挟まないよう注意してください。
- ・ 使用者と常にコンタクトしながらご利用ください。介助者が向いている方向と同じ方向に使用者を向けてあげてください。



警告

駐車ブレーキを使用して車いすの速度を落としたり停止させたりしないでください。車いすが急停止して放り出される可能性があります。



Figure 4.24



Figure 4.25



Figure 4.26



Figure 4.27



Figure 4.28



Figure 4.29



Figure 4.30



Figure 4.31

4. 6. 2 介助者による後傾方法

- 使用者の両足がフットサポートの上に乗っていることを確認してください。
- ブレーキを解除してください。
- 両方の介助ハンドルをしっかりつかんでください。
- 車いす後部にあるティッピングバーに足を掛けてください。
- 利用者に今から車いすを後に傾けようとしていることを伝えてください。
- 両手で後方に引き足で前方に押し出す。車いすが後傾します。(図 4.31)



注意

- 車いすを約25度後方へ傾けるとメインホイールに重さがのり介助しやすくなります。それ以上傾くと使用者が不安に感じます
- 介助者は、背中を伸ばした状態で行ってください。転倒防止バーに足を乗せたまま、元の位置に傾きを戻してください。

4. 6. 3 使用者が車いすを傾ける場合

- 両足がフットサポートに乗り、体が滑り落ちないようにしてください。
- ブレーキを両方解除します。
- 両方のハンドリムを握り障害物の直前で前に押し、段差を乗り越えるまでバランスを取り続けてください。



注意

- この方法は車いすの経験が長い方が試みてください。腕力も必要となります。
- 必要に応じ、介助者の助けも借りてください。

4. 6. 4 段差を降りる

可能な限り段差や斜面を避けるようにしてください。必要に応じ介助者の助けを借りてください。

4. 6. 4. 1 介助者と一緒に段差を前方から降りる



注意

- 難しい方法ですが、使用者の視界は良くなります。
- 段差に転倒防止バーがぶつからないように注意してください。
- 衝撃で使用者が車いすが落ちる可能性があります。

決して車いすが前方に傾かないようにご注意ください。

- フロントキャスタを段差の近くに来るように車いすを移動し、道路に障害物がないことを確認してください。
- 車いすをゆっくりと前に動かし、軽く後傾させながら前進させます。メインホイールが段差を越える時、重さを支えてください。両方のメインホイールが同時に地面につき、転倒しないように注意してください。
- フロントキャスタをゆっくり下ろします。

4. 6. 4. 2 介助者と一緒に段差を後方から降りる



注意

簡単でスムーズな方法ですが介助者は後ろ向きで道にでる必要があります。

- 車いすを後ろ向きにし、段差の近くまで移動します。両方のメインホイールが段差に近くなるようにしてください。
- 介助ハンドルを握り、段差からメインホイールを下ろしてください。メインホイールが同時に地面に接地するようにご確認ください。
- 車いすをゆっくり傾けてキャスタとフットサポートを段差から離れる位置まで移動します。

4. 6. 5 段差を乗り越える

この操作は介助者の助けを借りて行われることをお勧めします。段差を前方から乗り越えるための最善の方法は方向を維持することです。そうすることで介助者の負担を軽減することができます。

4. 6. 5. 1 介助者と前方から段差を乗り越える

- フットサポートが段差に近づいた時、車いすのフロントキャストを十分な高さまで傾けてください。
- メインホイールが段差に接触するまで車いすを前方に移動します。その後、移動を続けながら、介助ハンドルを持ち上げ車いすを前方に動かします。

4. 6. 5. 2 介助者と後方から段差を乗り越える

使用者の安全を考え、この方法は推奨しません。

4. 6. 6 階段の昇降

- 特別な介助がない場合は、車いすを持ち上げて段差の移動は避けてください。
可能であればリフトやスロープをご利用ください。
- 車いすの重さを半分ずつ支えるようにして移動する為、2人での介助が必要です。
- 介助する方は膝を曲げ、メインフレームを持つようにしてください。前方介助の方は座面前方部のフレーム、後方介助の方は介助ハンドルの下の本体フレームを持つようにしてください。



警告

取り外し可能な部品を持って車いすを持ち上げることはしないでください。
利用者や介助者のケガや、車いすの破損の原因になります。

持ち上げる際は、常に背中を伸ばしてください。

- 足を伸ばして本体を持ち上げてください。階段の昇降の際には、足の位置にご注意ください。
足を交差させて階段の昇降を行わないでください。

5、点検とメンテナンス

5. 1 日常点検

- ご利用になられる前に各部位をご確認ください。異常を発見した場合には使用を中止し、代理店へご連絡ください。
- ブレーキの確認、摩耗状況の確認、損傷やキズなどないか確認してください。
ブレーキの修理・交換は、代理店に依頼してください。
- 介助ハンドルのグリップが損傷していないかどうか、また介助ハンドルにしっかり固定されているか確認してください。
- 転倒防止バーが損傷なく、しっかり装着されていることを確認してください。
- 転倒防止バーの車輪、フレームに損傷なく、本体にしっかり装着されていることを確認してください。
- オプションパーツがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ご使用の前に、ボルト、ナットが緩み無くしっかり締まっていることを確認してください。
損傷等がある場合には交換してください。
- ブレーキが正常に作動し、タイヤを固定していることを確認してください。
- タイヤに亀裂や摩耗がないか確認してください。必要に応じて、代理店に修理及び交換を依頼してください。
- 修理、メンテナンスは専門の業者に依頼してください。



注意 異常を発見した場合には使用を中止し、代理店へご連絡ください。

5. 2 点検、メンテナンスの記録

- 本体を良い状態で保つために専門の業者へ修理、メンテナンスをご依頼ください。（履歴を記録することをお勧めします）。より良い状態でご使用いただくために、6ヵ月毎にメンテナンスを行うことをお勧めいたします。



長期間使用しない場合でも定期的にメンテナンスを行ってください。
車いすを清掃し、綺麗な状態を保ってください。

項目	週	月
一般		
● 車いすがまっすぐ進む（片側に傾かずに進むか）		V
フレームとクロスフレーム		
● フレームに小さな傷や割れ目があるか？		V
● フレームやクロスフレームが曲がっていないか		V
ブレーキ		
● ボルト、ナットに緩みがないか		V
● 回転軸が緩んでいないか		V
● 取り回しが簡単か	V	
● 使用中に車いすが動かないか	V	
座面とバックサポート		
● キズやほつれがないか	V	
● 緩みや破損がないか		V
キャスタ		
● キャスタがスムーズに回転しているか		V
● キャスタに摩耗や損傷がないか		V
メインホイール		
● ボルト、ナットに緩みがなく、適切に取り付けられているか	V	
● 横ブレや曲がりがなくスムーズに動くか		V
● スポークのひび割れ、曲がり、損傷を確認する	V	
アームサポート		
● アームサポートにキズやガタツキがないか		V
フットサポート		
● フットサポート高さ調整ねじに緩みがないか		V
● フットサポートの着脱、固定が適切に使用できるか（自走式）		V
タイヤ		
● 平らな場所で、ひび割れおよび摩耗を確認する	V	
● タイヤの溝が 1 mm 以上であるか確認する		V



注意

- ・異常を発見した場合には使用を中止し、代理店へご連絡ください。
- ・タイヤの亀裂や磨耗を確認してください。必要に応じて、専門の業者に修理や交換を依頼してください。



注意

車いすを改造しないでください。車いすの破損や思わぬケガに繋がる恐れがあります。

6、トラブルシューティング

代理店へ問い合わせる前に、下記をご確認ください。

問題	チェック項目と適切な行動
1. 車いすがまっすぐ進まない	● メインホイール、キャストが正しく取り付けられているか確認してください ● ボルト、ナットに緩みがないか確認してください ● 軸にゴミなどが付いていないか確認してください ● タイヤに磨耗がないか確認してください
2. 回転や操作がしづらい	● タイヤの磨耗や左右差がないかを確認してください ● ナットやボルトは紛失していないか確認してください
3. キャスタのブレや回転不足	● タイヤの磨耗や左右差がないかを確認してください ● ナットやボルトは紛失していないか確認してください ● キャスタブラケット角度を確認してください
4. きしみや不音	● ナットやボルトは紛失していないか確認してください
5. 車いすのゆがみ	● ナットやボルトは紛失していないか確認してください
6. 上下昇降ができない (スタンディングができない)	● 電源が入っていることを確認してください ● 正しく充電がされているか確認してください ● コードの接続がされているか確認してください

ご自身で解決できない場合には、代理店へご相談ください。

7. 製品仕様

モデル	Rizer 1
全長	985~1045mm
全幅	座幅+190mm
全高	960（座位時）／1430（立ち上り時）
重量	28.6kg（バッテリーなし25.8kg）
座幅	400／440／480mm（選択式）
座面の奥行	440／470／500mm（3段階）
座面の高さ	520mm
バックサポートの高さ	420mm
アームサポートの高さ	180~260mm（5段階）
カフパッドの長さ	360~420mm（4段階）
パッケージサイズ	座幅：400、440mm 940×600×870mm 座幅：480mm 940×640×870mm
最大使用者体重	120kg

※計測方法により若干の誤差が生じる場合があります。

※製品の形状、仕様は、改善のため予告なく変更する場合があります。

安定性テスト（ISO 7176-1:1999）	
方向	角度
前方	15°
メインホイール固定時	12°
メインホイール未固定時	20°
転倒防止バー	15°
側方	17°

※座幅480mmでテスト

Made in Taiwan

製造元：

karma

KARMA MEDICAL PRODUCTS, CO., LTD

8. 清掃とリサイクル

8. 1 清掃

車いすを長くご使用いただくために、定期的に清掃することをお勧めします。雨や雪の中でのご使用はお勧めしません。もし外出中に雨が降り出した場合は避難所を探すことをお勧めいたします。汚れが付着した場合は、すぐに汚れを落として乾かしてください。

8. 1. 1 フレーム

- ・湿った布で拭いてください。

8. 1. 2 シート

- ・温水と中性洗剤を使用して使用してください。

8. 2 廃棄及びリサイクル

車いすの廃棄及びリサイクルは地域によって異なりますので、各自治体の規則に従い処分してください。

素材	使用箇所	方法
アルミニウム	フレーム	リサイクル可能
プラスチック	調整箇所のパーツ	リサイクル可能
紙	取扱説明書	リサイクル可能

品質保証書

この度は車いす『Rizer 1』をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品の保証は、下記記載の「保証規定」により、正常な使用状態において故障が生じた場合に限りお買い上げ日より1年間無償にて修理するものです。

製 品 名	Rizer 1
製 造 番 号	
お 客 様 お 名 前	
お 客 様 ご 住 所	
お客様お電話番号	
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
保 証 有 効 年 月 日	お買い上げ日より1年間
取 扱 店	
保証責任者連絡先	ラックヘルスケア株式会社 TEL：06-6244-0636

保証規定

I. 保証の範囲

1. 保証の範囲は本体のみの保証となります。
2. 保証期間はお買い上げ後1年間です。（製品出荷より1年間）
3. 下記の場合は保証期間中であっても有料になります。
 - ＊お取り扱い上の過誤並びに不注意による故障
 - ＊製品に改造を加えた場合での故障
 - ＊天災等の不可抗力によって生じる損害や故障
 - ＊タイヤ、シート、バッテリー等の消耗品
 - ＊品質保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合
 - ＊品質保証書の提示がない場合
 - ＊ご購入日が確認できない場合
4. 保証は日本国内においてのみ有効です。

II. サービスのご用命

保証期間中に万一故障が生じた場合は、お買い上げ店、もしくは保証責任者へ品質保証書を添えてお申し出ください。

LAC

ラックヘルスケア株式会社

〒542-0081

大阪市中央区南船場 2-10-2

TEL : 06-6244-0636 FAX : 06-6244-0836